



### ～ 理 念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、  
信頼され、患者さんも職員も元気が  
出る病院をめざします。

### 患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

## — Information —

### 『備えあれば憂い無し—災害に備えて』

副院長 仲 寛

平生から準備ができていれば、万が一の事が起きても心配することは無いのですが、軍記物の『一ノ谷の合戦』や『川中島の合戦』にもあるように、油断していると大軍でも一瞬でパニックになり総崩れとなり滅んでしまいます。戦の中にあつてすらこうですから、ましてや平時においてはなおさらのことです。

近い将来、中央構造線あるいは南海トラフを震源とした巨大地震がおき、甚大な被害をもたらすとの驚愕の予想が出されています。海岸線の長い和歌山では入り組んだ地形での大津波が警戒され、県下の各自治体では、東日本大地震などの教訓を活かした住民の避難訓練や、津波対策が講じられています。

医療機関にあっては、大規模災害時における医療救護体制を整え不測の事態に備える必要もようやく認知されつつあります。当院は、和歌山市の災害支援病院として、市保健所の指導のもと、その取り組みを強化しているところで、防災管理委員会のもとでの実働部隊としてH26年2月に災害医療準備委員会を組織しました。災害時に病院機能を維持し医療業務を遂行し継続するための具体的な行動計画を作り、訓練で評価しています。災害対策マニュアルの評価や改変、災害時の病院設備の機能を評価するためのチェックリストを作成、災害時必要物品の整備など具体的準備を進めています。和歌山市の災害医療実地訓練にも参加し、問題点を検討し、役割分担別にとるべき行動などをアクションカードとして作成し実戦に即したものにしていきます。その他、災害医療に関する院内外の研修会や訓練にも参加し、災害においてチーム医療が遂行できそのリーダーシップがとれる職員の養成も行っています。

当院は医療の質と安全をより強化するものとして、常日頃チーム医療を推進していますが、まさに災害医療の現場では、このチーム力がこそが最も大事で、チームワークが機能しなければ、助けられる命も救えません。電気、水道、ガス、通信などのインフラの被害状況により電子カルテや高額医療機器がたとえ使えなくても、災害支援病院として当院が果たすべき役割を全うできるように、訓練で培われた職員のチーム力で備えたいと思っています。備えあれば—です。



今回は済生会和歌山病院における感染対策について、ご紹介いたします。

当院では、院内感染の予防や感染症発生時に患者さんやその家族、職員の安全を守るために、院内感染対策委員会、感染制御チーム (ICT: Infection Control Team)、感染対策リンクナース会が設置されています。感染対策委員会は主にICTやリンクナース会の統括・議決組織としての役割を担い、リンクナース会は現場をよく知る看護師の代表が、ICTと協力・連携し、ICT活動を周知・徹底する役割を担っています。

ICTは、感染対策を実践・実働する組織で、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、放射線技師、理学療法士、管理栄養士、事務職員など様々な職種が集まり、それぞれの専門性を生かして、病院全体の感染対策活動に従事しています。

年2回、全職員を対象に感染対策研修会を開催しています。外部講師を招いての講演やICTメンバーが講師になって行っています。また毎年4月には、新採用者対象の感染対策研修会を開催し、感染対策の基本について啓発を行っています。

その他一部ですが、取り組みについて、ご紹介します。

## <写真1>

週1回、ICTカンファレンスを実施し、病棟内や外来で、注意すべき感染症の患者さんがいないかどうかをチェックしたり、医師からのチェック依頼患者さんについて対応を検討しています。

## <写真2>

月1回リンクナースによって、各病棟などを巡回し、感染対策が適切に行われているか等について確認しています。

## <写真3>

必要に応じて臨時の講習会を行うこともあります。写真はエボラ出血熱がマスコミ等で大きく報じられた際には、当院に患者さんが来院した場合を想定して、防護具の着脱手順を説明しました。

## <写真4>

地域や他施設との連携も重要になってきています。当院は平成26年4月から感染防止対策加算1算定施設であるため、年4回、連携施設との合同カンファレンスを実施しています。

私自身は、平成25年6月に感染管理認定看護師の資格を取得したばかりですので、まだまだわからないことが多く、メンバーにいつも助けられながら、日々勉強しつつ取り組んでいます。

感染対策は1人では何もできず、皆様のご協力が不可欠です。今後も精一杯取り組んでまいりますので、どうかよろしくお願いたします。



写真1



写真2



写真3



写真4

## ～登録医総会開催について～

地域医療連携室室長 重里 政信

7月25日(土)に第7回済生会和歌山病院登録医総会をダイワロイネットホテル和歌山にて開催しました。

今回は、新任の黒田美也子看護部長を筆頭に、病棟部長も数名参加し、登録医の先生方と色々なお話をさせていただき、非常に有意義な時間を過ごせることができ、感謝しております。

特別講演では、和歌山県立医科大学附属病院 神経内科講師 廣西 昌也先生にお越しいただき“Yesといえる認知症生活～認知症ストームを生き抜く～”というテーマで講演をしていただきました。

急速に進む高齢化社会の中で、認知症は誰もが身近にかかえる問題となるかもしれません。そんな深刻なテーマであ

## ～ 循環器内科より ～

循環器内科部長 大鹿 裕之

### 赴任のお知らせ



10月1日より赴任しました、和田 輝明 (わだてるあき) と申します。和歌山県立医科大学附属病院より済生会熊本病院に国内留学させて頂き、2年ぶりに和歌山に帰ってきました。主に虚血性心疾患の治療に従事していました。少しでもお役に立てるように頑張りますので、よろしくお願い致します。



循環器内科スタッフ

当院では2013年3月に新しい血管撮影装置が導入されました。以前は一方向からの撮影しかできませんでしたが、新しい装置では同時に二方向から撮影できるようになりました。これによりカテーテル検査、カテーテル治療で使用される造影剤量が半分になりました。腎臓への負担が軽減できるという意味で、より低侵襲な検査・治療ができるようになります。

2015年10月より、和歌山県立医科大学循環器内科から和田先生が派遣されました。フレッシュな先生のバイタリティを得て、和歌山市の地域医療に貢献できるよう三人でがんばって参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ～ 整形外科より ～

整形外科部長 山崎 悟

### 赴任のお知らせ



7月から赴任しました岡田紗枝 (おかださえ) と申します。和歌山県立医大整形外科に所属しております。脊椎疾患を中心に整形全般にわたり診療を行ってまいります。精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



7月から赴任しました中村憲太 (なかむらけんた) です。和歌山県立医大整形外科に所属し、一般整形、関節外科、外傷等の診察をしています。和歌山生まれ、和歌山育ちです。趣味は最近ではウクレレなどを嗜んでおります。地域の皆さん、職場の皆さんに少しでも力になれるよう頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。



7月から赴任しました山川量平 (やまかわりょうへい) です。和歌山県立医大整形外科に所属しています。まだまだ未熟であり、皆さんにご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、少しでも多くのことを学び、成長できるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



整形外科スタッフ

当科では、低侵襲の人工関節置換術をはじめとした関節疾患や、大腿骨頸部骨折などの外傷疾患、又、脊椎脊髄病専門医による、腰部脊椎管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアに対する脊椎内視鏡手術にも対応しています。

この度、3名の医師が人事異動により赴任して参りました。

彼らのエネルギーな働きぶりが頼もしくもあり、私自身も感化されています。

今後も先生方のニーズにお応え出来るよう精進して参りますので、より一層ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

るにもかかわらず、講演終了後には心が温まり優しい気持ちになったのは、廣西先生のお人柄でしょうか。これからも当院の登録医総会での講演は、できるだけ身近なテーマを、フレンドリーな講師に依頼していきたいと思えます。

今後も先生方と『顔の見える連携』に努めて参りたいと存じますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



廣西先生の講演



登録医の先生方との情報交換会

# 濟生会和歌山病院外来診療予定表

(平成27年10月1日現在)

区分		月	火	水	木	金
内科	消化器内科	山原 邦浩	—	山原 邦浩	—	川口 雅功
		—	—	川口 雅功	—	—
	糖尿病代謝内科	—	—	—	巽 邦浩	—
		巽 邦浩	英 肇	荒古 道子	英 肇	荒古 道子
循環器内科	—	—	—	—	—	
	尾鼻 正弘	大鹿 裕之	尾鼻 正弘	和田 輝明	大鹿 裕之	
脳神経外科	北山 真理	北山 真理	仲 寛	仲 寛	▲林靖二/山家弘雄	
	三木潤一郎	—	—	三木潤一郎	—	
外科	—	高垣 有作	—	—	—	
	重里 政信	青石 裕香	重里 政信	—	中村 恭子	
	—	—	ストーマ外来	—	—	
心臓血管外科	畑田 充俊	—	栗山 雄幸	栗山 雄幸	畑田 充俊	
整形外科	山川 量平	中村 憲太	新患診	松崎 交作	岡田 紗枝	
	岡田 紗枝	山崎 悟		山崎 悟	中村 憲太	
	西山 大介	—		西山 大介	—	
リハビリテーション科	医大応援医師	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	湯田 啓之	
耳鼻咽喉科	—	—	医大応援医師	—	—	
腎センター	—	—	—	岡本 昌典	—	
眼科	金 桂 洙	宮本 武	—	仲河 正樹	白井 久美	
皮膚科	上中 智香子	—	—	山本 有紀	—	
泌尿器科	—	—	宮井 晴加	—	柑本 康夫	

※外科、高垣有作はリンパ浮腫外来となります。

【受付時間】 午前（全科） 8時30分～11時00分（但し、予約患者は除く）

- ※腎センターは木曜日午後 保存期外来を実施。
- ※月曜日禁煙外来を実施しています。（予約制）
- ※水曜日はストーマ外来を実施しています。  
（予約制・初診の方は紹介状が必要です）

- ▲金曜日の脳神経外科は毎月第2週目のみ山家先生に診察医が変わります。
- ※当院では予約診療を行っているため、予約無しで来院された場合は、紹介状を持参されていてもお待ち頂く場合がございますのでご了承ください。

## 診療案内

診察日：月～金曜日

受付時間：午前8時30分～午前11時（但し、予約患者はこの限りにあらず）

休診日：土・日・祝祭日（年末年始）

面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



## 交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

## 地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187